easyHousing



Windows7 編

第2.6版

2015年9月16日



改版履歴

版	作成日	内容
初版	2011/08/29	・新規作成
1.1版	2012/01/20	・改版履歴を追加
		・4.1 Internet Explorer の設定
		「インターネットオプション」 レベルのカスタマイズ
		「インターネット」の設定を「信頼済みサイト」で行うように修正
		それに伴い、Cookie とポップアップブロックの設定手順を削除
1.2版	2012/05/15	・4.1 Internet Explorer の設定 ④
		セキュリティの設定に「アプリケーションと安全でないファイルの
		起動」にチェックする手順を追加
		・5.1 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ⑧
		既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合の手順を追加
		・5.2 JRE のインストール
		JRE1.7 のインストール手順に変更
1.3版	2012/07/24	・4.1 Internet Explorer の設定
		ポップアップブロック解除手順を追加
		・JRE と電子証明書ライブラリのインストール順を変更
		・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール
		読み込み画面の説明を追加
1.4版	2012/08/20	・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール
		初回接続時の警告メッセージを追加
1.5版	2013/01/18	・2.1 Windows ユーザの権限について
		文章の構成を修正(仕様変更は無し)
		 ・3 電子証明書
		証明書の削除手順を追加し、既存部分の説明を一部修正。
		・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール
		初回接続時の手順を JRE1.6 から JRE1.7 に変更
		・5.3 Adobe Reader のインストール
		Adobe Reader のバージョンの例を 9 から X(10)に変更
1.6版	2013/03/06	・2.1 Windows ユーザの権限について
		説明文を一部修正
		・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール
		初回接続時のダイアログ画面と手順を修正
		ダウンロード画面の画像を変更

	0010/04/10	
1.7 版	2013/04/18	・4 インターネットエクスクローラ
		・5.1 JRE のインストール
		・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール
		・5.3 Adobe Reader のインストール
		対応ブラウザに IE10 の追加
		・5.3 Adobe Reader のインストール
		動作する Adobe Reader のバージョン修正
1.8版	2013/08/07	・2.1 Windows ユーザの権限について
		電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて説明文を修正
		・4.1 Internet Explorer の設定
		以下の設定手順を追加
		タブの「ポップアップの発生時」
		詳細設定の「暗号化されたページをディスクに保存しない」
		・5.1 JRE のインストール
		ダウンロードの説明文を一部修正
		・5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ
		電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて、以下を変更
		既存の手順を 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロードと
		5.2.2 電子署名ライブラリのインストールに分割し、
		説明文を修正
		5.2.3 電子署名ライブラリのアップグレードを追加
		(補足)Administrator 権限の追加・削除手順を削除
		・5.3 Adobe Reader のインストール
		手順の説明を URL のリンクに変更
		・ 補足 1、補足 2 を追加
1.9版	2013/10/30	・4.1 Internet Explorer の設定
		拡張保護モードの設定手順を追加
		・5 必要ソフトウェアのセットアップ
		説明文を修正
		・5.1 JRE のインストール
		JRE のダウンロード画面を変更
		Windows オフライン (64 ビット)の説明を修正
		・5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード
		ログイン時の説明を修正
		・5.3 Adobe Reader のインストール
		説明文と画像を追加
1	1	

		マカフィーの説明を追加
2.0版	2014/2/5	対応ブラウザに IE11 の追加
		・4.1 Internet Explorer の設定
		IE11 に関する記載を追加
		・5.1.1 JRE1.7 のインストール手順
		セキュリティ・プロンプト復元についての説明を追加
2.1版	2014/2/24	・3.1 電子証明書のインストール
		証明書のファイル名を修正
		セキュリティ警告の説明を追加
2.2版	2014/12/26	・5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード
		一部画像の変更(手順③、④)
2.3版	2015/1/7	・5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード
		Java 先読み画面に関する説明文の削除
2.4版	2015/3/9	5.1.1 JRE のインストール手順
		・インストール手順を JRE1.7 から JRE1.8 に変更
2.5版	2015/3/19	5.1.1 JRE のインストール手順
		・Ask のツールバーの説明を追加
2.6版	2015/9/16	5.1.1 JRE のインストール手順
		・JRE1.8の画像に変更
		補足 1.1 Java アンインストール手順
		・JRE1.8の画像に変更
		補足 2.1 Java のアップデート手順
		・Ask のツールバーの説明を削除

目



はじめに	. 2
利用者環境	. 3
2.1 Windows ユーザの権限について	3
電子証明書	. 4
3.1 電子証明書のインストール	4
3.2 電子証明書の削除	9
インターネットエクスプローラ	12
4.1 Internet Explorer の設定	13
必要ソフトウェアのセットアップ	24
5.1 JRE のインストール	24
5.1.1 JRE1.8 のインストール手順	. 26
5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ	28
5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード	. 28
5.2.2 電子署名ライブラリのインストール	. 31
5.3 Adobe Reader のインストール	38
甫足1 必要ソフトウェアのアンインストール手順	39
補足 1.1 Java アンインストール手順	39
補足 1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順	42
甫足 2 必要ソフトウェアの更新手順	45
補足 2.1 Java アップデート手順	45
補足 2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順	47

1 はじめに

このマニュアルは、本サービスの Java インストール版(電子証明書インストール版)での ご利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェア(電子署名ライブラリ、JRE、Adobe Reader)のセットアップ

※このマニュアルは、Windows7を対象としています。

2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、Administrator 権限が必要になります。 事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書の	Administrator 権限は不要です。
インストール	
インターネット	Administrator 権限は不要です。
エクスプローラの設定	
電子署名ライブラリの	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、インス
インストール	トール中に Administrator のパスワード入力が必要です。
JRE の	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、
インストール	Administrator 権限を持つ他のユーザからのインストールが必要です。
Adobe Reader \mathcal{O}	同上
インストール	

3 電子証明書

3.1 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

※本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。 参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード (PINコード)」を記載している葉書

①電子証明書のCD-ROM(*1)をドライブにセットしてください。

証明書ファイル(「CERT_xxxxxx.p12」または「xxxx.p12」)をダブルクリックし、 インストールを開始します。

◆メモ◆ オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROMの内容が自動的に読込まれ 下図の画面が 表示されます。 オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、 エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

証明書のインポート ウィザード		
	証明書のインポート ウィザードの開始	
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リ ストをディスクから証明書ストアにコピーします。	
	証明明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データ を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供 するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管され るシステム上の領域です。	
	続行するには、〕次へ]をクリックしてください。	
		クリック

②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、『次へ』ボタンをクリックします。

③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。

証明書のインポート ウィザード	
インボートする証明書ファイル インボートするファイルを指定してください。	※証明書のファイル名は そのままで問題ありません。
771ル名(E):	参照(B)
注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を	保管できます:
Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX	.P12)
Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS :	#7 証明書 (.P7B)
Microsoft シリアル化された証明書ストア(.SST)	
証明書ファイルの形式の詳細について表示します。	<i>クリック</i>
	戻る(B() 次へ(N)> キャンセル

④「パスワード」画面で、「証明書パスワード (PINコード)」の葉書 (*2) に記載されている パスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされ ていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



入力を行ってください。

・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように 入力を行ってください。 ⑤<証明書ストア>画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を 選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。

証明書のインポート ウィザード	— ×	
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	「証明書の利	重類に基づいて、自動的に
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することがア	証明書ストン	アを選択する」にチェック
 ● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U) ● 証明書をすべてパロストアに配置する(E) 証明書ストア: 	参照(<u>R)</u>	
証明書ストアの詳細を表示します		21)37 I
< 戻る(B) 、 太へ(N) >	キャンセル	

⑥<証明書インポート ウィザードの完了>画面では、『完了』をクリックします。

証明書のインポート ウィザード		X
	証明書のインボート ウィザードの完了	
	[完了]をクリックすると、証明書がインボートされます。 次の設定が指定されました: 図研究れる証明書ストア・ウィザードで自動的に決定されます 内容 PFX ファイル名	
	< 戻る(B) 完了 キャンオ	21

※環境によっては、以下のような画面が表示される場合がありますが「はい」を クリックしてください。



★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア "個人"になるので、発注/請負を行うには、 電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows に ログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に 以下のような画面が表示される場合があります。



証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。 削除の手順は以下になります。

①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】-【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



③「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。

インターネット オプション
全般 セキュリティ フライバシー コンテンツ 持続 フログラム 詳細設定
保護者による制限 閲覧できるインターネットのコニテンツを指 保護者による制限(P) 定します。
コンテンツ アドバイザー
● 有效 2 する(E)
暗号化された接続と識別のため、証明書を設定します。
SSL 状態のクリア(S) (証明書(C) 発行元(B)
オートコンプリートによって、Web ページで前回 入力した内容を、入力中に補完できます。
フィードと Web スライス
フィードと Web スライスは、Web サイトの更新さ 設定(N) れたコンテンツを Internet Explorer やその他の プログラムで表示します。
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

④「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、 「削除」ボタンをクリックします。

証明書	※新しい証明書を先にインストール
目的(N): (〈すべて〉	していた場合、新しい方は削除しないよう
個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼	ご注意下さい。
発行先 発行者 有効期限 フレンドリ名 2016/05/14 2011/06/15	
インボード(D エクスボード(E) 前順余(B)	
証明書の目的 〈すべて〉	表示(⊻)
証明書の詳細について表示します。	- 閉じる(C)

⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。

証明書	23
	証明書を使って暗号化データの暗号化を解除できません。証明書を削 除しますか?
	(はい(Y) いいえ(N)

⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。

証明書	※新しい証明書をまだインストール		
目的(N): (すべて) 個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発	していない場合、この画面には表示されません。		
発行先 発行者 有効期限 フレンド 2016/05/14			
インボート(1)) エクスボート(E)) 削I除(B)	[詳新翻訳定(<u>A</u>)		
証明書の目的 〈すべて〉	表示(1)		
証明書の詳細について表示します。	開じる(©)		

⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、 削除は終了です。

4 インターネットエクスプローラ

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに 自己責任で行ってください。

このマニュアルでは、

Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11 について説明しています。

4.1 Internet Explorer の設定

メニューバーの【ツール】-【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードのAltキーを押下すると表示されます)



②信頼済みサイトの設定をします。

1.「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。

インターネット オプション 🔹 💌
全般 セキュリティ ダライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。
インターネット ローカル イントラネッ 信頼済みサイト 制限付きサイト
1言親済めブイト このゾーンには、コンピューターやファイル 書を与えない サイト(S)
✓ と信頼している Web サイトが含まれて
-このゾーンのセキュ! 「1日粮済みリイト」
カスを選択する
カー・ タンをクリックします
- 推奨設定を使用するには、「既定のレベル」 ボタンをクリックします
□ 1来設モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要人) レベルのカスタマイズ(C) 既定のレベル(D)
ALCON - DEMENDIANED FARMED
OK キャンセル 適用(A)

2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに 追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下して ください。



3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、 「閉じる」ボタンを押下してください

(査 信頼済みサイト	
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができ べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用され	きます。このゾーンの Web サイトす ます。
この Web サイトをゾーン(ご追加する(D): 	j追加(A)
Web # (1 (W): https://www.easyhousing.ne.jp	
■ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (http:	s:) を必要とする(S)
	開じる(C)

③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

→「**有効にする」**にチェックします。



●スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行 →「**有効にする**」にチェックします。



●アクティブスクリプト



→「**有効にする」**にチェックします。

●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「**有効にする」**にチェックします。

設定				
	 ページが、制限されたフロトコルをアク ダイアログを表示する 無対にする 有効にする リケーションと安全でないファイルの起動 ダイアログを表示する 無対にする オカにする オカにする 有効にする オカにする オカにする オカにする オカにする オカにする オカにする 	フティブ コンテンツに使用す あ ローカル ディレクトリの) ンドウを開くことを許可する	ることを 「有効にする」 チェック	を
Ŏ	有効にする		-	
×			•	
*Internet Ex もつわい 記念の	piorer の再開復に有効になります。			
リセット先(<u>R</u>):	(中 (既定)	• Utz	ット(E)	
		ок Г	キャンセル	

●ファイルのダウンロード

→「 有効にする」 にチェックします。	
セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	
_ 設定	
ダウンロード	
● オルビック ● フォントのダウンロード ● ダイアログを表示する 「有効に、	する」を
● 有効にする ※ 1 - サ 初知す ※ 2 - サ 初知す - サ わけす	
 ● ロクオフ ● イントラネット ゾーンでのみ自動的にログオンする ● ユーザー名とパスワードを入力してログオンする ● 現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする ● 匿名でログオンする 	
< Ⅲ ト *Internet Explorer の再開後に有対にわります。	
カスタム設定のリセット リセット先(R): 中(既定) ・ リセット(E)	
OK キャンセル	

⑤『OK』ボタンをクリックし、<インターネットオプション>画面に戻ります。

⑥ [全般] タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。
 (Internet Explorer 11の場合は、ボタンの位置が異なります。)

インターネット オプション
全般 チェリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
複数のホームページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(B)
http://www.google.co.jp/
現在のページを使用(C) 標準設定(E) 空白を使用(B) 問覧の履歴
ー時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォーム の情報を削除します。
■ 終了時に閲覧の履歴を削除する())
削除(<u>D</u>)
検索の既定の動作を変更します。 設定()
タブの中の Web ページの表示方法を設定しま 設定(D) す。
ァサイン <u> 色(Q)</u> 言語(L) フォンド(<u>N)</u> ユーザー補助(<u>E</u>)
OK キャンセル 適用(A)

(Internet Explorer 11の場合)

<u>インタ</u> ーネットオプション
全般 キュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 フログラム 詳細設定
複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してくたさい(<u>R</u>)
http://www.google.co.jp/
現在のページを使用(<u>C</u>) 標準設定(<u>E</u>) 新しいタブの使用(<u>U</u>) スタートアップ
 ● 前回のセッションのタブから開始する(<u>B</u>) ● ホーム ページから開始する(<u>H</u>)
タブ タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(I)
閲覧の履歴 一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情 報を削除します。
○ 終了時に閲覧の履歴を削除する(W) 削除(D) 設定(S)
アッコン 色(<u>Q</u>) 言語(<u>L</u>) フォント(<u>N</u>) ユーザー補助(<u>E</u>)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

⑦「インターネットー時ファイルと履歴の設定」

フォルダーの移動(M)... オブジェクトの表示(Q) ファイルの表示(V)

●保存しているページの新しいバージョンの確認

→「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。 (Internet Explorer 11 の場合は、画像が異なります。)



キャンセル

OK

⑧ [全般] で、タブの「設定」ボタンをクリックします。
 (Internet Explorer 10の場合は、「タブ」ボタンをクリックします)



(Internet Explorer 10の場合)



「ポップアップの発生時」で、「ポップアップを開く方法を

Internet Explorer で自動的に判定する」に変更します。



⑨ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてくだ さい。



「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、

「追加」ボタンをクリックします。

ポップアップ ブロックの設定	
例外 現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定 の Web サイトのポップアップを許可できます。	www.easyhousing.ne.jp
ing S Web サイトのアドレスter www.easyhousing.ne.jp	を入力
許可されたサイド(S):	
通知とブロックレベル: ② ポップアップのブロック時代に音を鳴らす(P) ③ ポップアップのブロックが特に通知パーを表示する(N) ブロックレベル(B): 中:ほとんどの自動ポップアップをブロックする。 ▼	
ポップアップ ブロックの詳細 閉じる(C)	

「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを

クリックします。

- ポップアップ ブロックの設定	×
例外	
現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加す の Web サイトのポップアップを許可できます。	ることにより、特定
許可する Web サイトのアドレス(<u>W</u>):	
	追加(<u>A</u>)
許可されたサイト(S):	
www.easyhousing.ne.jp	肖/除(<u>R</u>)
	すべて削修(E)
(通知)とブロック しべつ	
マ ポップアップのブロック時(ご音を鳴らす(P)	
図 ポップアップのブロック時(ご通知)バーを表示する(N)	
ブロック レベル(<u>B</u>):	
中: ほとんどの自動ポップアップをブロックする	-
<u>ポップアップ ブロックの</u> 詳細	閉じる(<u>C</u>)

① インターネットオプションの [詳細設定] で、

「暗号化されたページをディスクに保存しない」にチェックがあった場合は

チェックを**外します。**



また、「拡張保護モードを有効にする」にチェックがあった場合は そのチェックも**外します。(OS**が 32bit、または Internet Explorer の バージョンが 9 以前の場合は項目が無いため、設定は不要です。)



① 『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中に電源を切らないでください

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.8の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が 画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

以下の URL にアクセスします。



『同意して無料ダウンロードを開始』をクリックします。



(Internet Explorer 9/10 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で、デスクトップなど任意の場所に保存します。

sdlc-esd sun com から ire-8u31-windows-i586 exe (20 0 MB) を実行または保存しますか2			保存(S)
Suc-esu.sun.com から Jie-ous1-windows-1500.exe (29.0 Mp) を美日よたは体行しよりか?			名前を付けて保存(A)
🕐 この種類のファイルはコンピューターに問題を起こす可能性があります。	実行(R) 保存	存(S)	保存して実行(R)

※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、 ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。 JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、 再起動させるまで JAVA のインストールが有効になりません。

※参考情報

上記以外の Java のホームページからは Windows オフライン (32 ビット)の他に Windows オフライン (64 ビット)もダウンロード可能ですが、Internet Explorer の仕様上、Windows オフライン (64 ビット)が使用されるのは以下の場合に限られます。

- ・OS が Windows7(64 ビット)
- ・Internet Explorer のバージョンが 8 または 9
- ・インストールされている電子署名ライブラリのバージョンが 1.02 以降
- ・メニューから「Internet Explorer」ではなく「Internet Explorer (64 ビット)」を指定

 Internet Explorer (64 ビット) Internet Explorer はじめに 	「Internet Explorer (64 ビット)」と「Internet Explorer」の 2 種類が搭載されている場合がありますが、通常は「Internet Explorer」を使用します。
 プロジェクターへの接続 ■ ■ ■ ■ 	ドキュノン・ ビクチャ ミュージック コンピューター コントロール パネル デバイスとプリンター
 すべてのプログラム ブログラムとファイルの検索 	ペルプとサオ 標準的な PC の場合、ここに表示されるのは 「Internet Explorer」になります。

5.1.1 JRE1.8 のインストール手順

①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。

Javaセットアップ - ようこそ	
Javaへようこそ	
Javaを使用すると、驚くべきJavaコンテンツの世界に安全かつセキュアにアクセスできます。ビジネス・ソリュ ーションから有用なユーティリティやエンターティンメントまで、様々な分野でJavaはあなたのインターネット体 験を豊かにします。	
注意: インストール・プロセスで個人 情報が収集されることはありません。 <u>ここをクリック</u> すると、収集される情報について確認できます。	711+77 ! ^
<u>ライセンス契約</u> に同意してJavaのインストールを今すぐ開始するには、「インストール」をクリックします。	7
□ 宛先フォルダを変更する 取消 インストール(1) ~	

③<セットアップ-進捗>画面が表示されます。

Javaセットアップ - 進行中	83
Java Java	
状態: Javaをインストールしています	
30 億のデバイスで走る Java Computers, Printers, Routers, BlackBerry Smartphones, Cell Phones, VolP Phones, Vehicle Diagnostic Systems, MRIs, ATMs, Credit Cards, Kindle E-Readers, TVs, Cable Boxes	
ORACLE	

※<セキュリティ・プロンプトの復元>画面が表示された場合、 チェックを外して『次へ >』ボタンをクリックしてください。

Javaセットアップ - セキュリティ・プロンプトの復元 🛛 💷 🕴
Javaセキュリティ・プロンプトの復元
「再度表示しない」オプションを選択すると、一部のJavaセキュリティ・プロンプトが表示されなくなりま す。30日ごとにこれらのプロンプトを復元することで、個人情報に対するセキュリティを向上できます。
言羊細情報
回い watzキュリティ・プロンプトの復元

④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。

Javaセットアップ - 完了	
Java Java	
✔ Javaが正常にインストールされました	
Javaの更新が可能になると、プロンプトが表示されます。必ず更新をインストールして、パフォーマンスお よびセキュリティの最新の改善を反映させてください。 更新設定の詳細	
「閉じる」をクリックするとブラウザが開くので、Javaが動作していることを確認できます。	71/47 !
戻る(B) 閉じる(C)	\$

5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ

5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード

ダウンロード手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのダウンロード手順を説明します。

① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。



②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過すると

ログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード(12桁)」と「ユーザーID」「パスワード」を入力すること により認証を行います。

	- • •
Shttps://www.easyhousing.ne.jp/index_login.html	
easyHousing Success of Your Future Copyright(c) NEC Corporation	会社コーヤ: (当マーセンスを解決された単位で決められています) ロダイン及: (1明明単金統決済人だ方の加です) ■(会社コード大がのロダイン及を保存) イスワーヤ: (ロタイン和はされてのがスワードをす) ○ K
	🔍 100% 👻 🚽

企業コード、ログイン ID、パスワードを入力し、ログインします。

※電子証明書ライブラリがインストール済みの場合(アップグレードなど)

以下のような画面が表示された場合は、次の手順を実行して下さい。

- 『この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない』 をチェックします。
- ② 『実行』ボタンをクリックします。

※環境によって、画面や文章が一部異なる場合があります。

このアプリケーシ	ョンを実行	テしますか。 ×
<u>چ</u>	名前: 発行者:	RbowSignApplet NEC CO., Ltd.
	場所:	https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar
このアプリケーションは アクセスで実行されま い。	、コンピュータ す。発行者を	はよび個人情報を危険にざらす可能性がある無制限の と信頼する場合にのみこのアプリケーションを実行してくださ
	前述の場所	からのアプリケーションでは、)次回から表示しない(D)
	<u>M</u>)	実行取消

③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



④<ダウンロード>画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



(Internet Explorer 9/10の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。

				保存(S)
www.easynousing.ne.jp から setup.exe (4.01 MB) を美行または休存しまりか?			\frown	名前を付けて保存(A)
	実行(R)	保存(S)	-	保存して実行(R)
				1200/0

⑥<名前を付けて保存>画面が表示されます。デスクトップなど任意の場所へ保存してください。



5.2.2 電子署名ライブラリのインストール

 「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」でダウンロードしたファイル「setup. exe」を ダブルクリックし、セットアップを開始します。



②InstallShield Wizard が起動します。

●初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、<使用許諾契約>の画面が表示されます。 内容をご確認のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、『次へ』ボタンをクリック します。

湯 easyHousing電子署名ライブラリ - InstallShield Wizard	
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。	
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ļ
easyHousing電子署名ライブラリ使用許諾契約書	l
本ソフトウェアのご使用を開始される前に、以下の使用条件を必ずお読 みください。いずれかの使用条件にご同意いただけない場合には、本ソ フトウェアをご使用いただけません。お客様が本ソフトウェアのご使用 を開始されることをもって、本ソフトウェアの使用条件にご同意いただ いたものといたします。	
 ● 使用記括契約の条項に同意します(A) 	
InstallShield	
〈 戻る む () () () () () () () () () (V
\$	

グリック! ※アップグレードの確認画面が表示された場合は、47 ページ 「補足 2.2 電子署名ライブラリ アップ



※変更、修正(修復)、および削除の画面が表示された場合、電子署名ライブラリはインストール済 ですので『キャンセル』ボタンをクリックして下さい。(電子署名ライブラリをアンインストール する場合は、42ページ「補足 1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順」を参照して下さい)

📙 easyHousing電子署名ライ	ブラリ - InstallShield Wizard 🛛 💦	🛛 🛃 easyHousing電子署名ライブラリ - InstallShield Wizard 🛛 🗾 💽	×	
	easyHousine電子署名ライブラリ用のInstallShield ウィザー ドヘようこそ	プログラムの保守 プログラムを変更、修復、および項明約します。		
	InstallShield(R) ウイザードを使うと、easyHousing電子署名ラ イブラリ を変更、修正、および削除することができます。 続 行するには、「次へ」をクリックしてください。	 変更(M) インストールするプログラム機能を変更します。このオプションでは、 カスタム、ダイアログを使ってインストールするプログラム機能を変更 することができます。 		
		 修復(P) プログラム中のエラーを修復します。このオプションでは、失われたり 壊れたりしたファイル、ショートカット、およびレジストリ エントリを修正 することができます。 		
		○ 削除(P) コンピュータから easyHousing電子署名ライブラリを削除します。		
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	- InstallShield)	

③<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」(通常)か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンを クリックします。

● 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで "C:¥Program Files¥NEC¥jasp"となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑦へ進みます。

👸 easyHousing電子署名ライブラリ - InstallShield Wizard 🛛 💦	
セットアップ タイプ ご利用方法に合わせて最適なセットアップ タイプを選択してください。	
セットアップ タイプを選択してください。	
 すべてのブログラム機能をインストールします。(最大のディスク 容量を必要とします) カスタム(S) インストールするブログラム機能、およびインストール先を選択す ることができます。製品をよくご存知のユーザにお勧めします。 	手順⑦へ進んで ください。
InstallShield く戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	
71-17 !	

● 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することが できます。



④<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順③で「カスタム」を選択した場合)『変更』ボタンをクリックします。

👸 easyHousing電子署名ライブラリ - InstallShield Wizard	
カスタム セットアップ インストールするプログラムの機能を選択してください。	
下のリストにあるアイコンをクリックして、機能のインストール方法を変 使きの easyHousing電子署名ライブラリ この機能は、ロード ドライフ す。	更してください。 説明 usine電子署名ライブラ 能をインストールするに - カルのハードディスク れこ 1852KB が必要で クリック!
インストール先: C:¥Program Files¥NEC¥jasp¥ InstallShield	変更(C) (D) =++ンセル

⑤<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。

「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または

「フォルダ名」の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを

クリックします。



⑥<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。



⑦<プログラムをインストールする準備ができました>画面が表示されます。『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。

😸 easyHousing電子署名ライブラリ - InstallShield Wizard
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。
インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャン セル」をクリックすると、ウィザードを終了します。
InstallShield
〈 戻る(B) 【インストール(D】 キャンセル

以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

-ב 🤫	-ザー アカウント制	卸 🔀
\bigcirc	次の不明な発行元; 可しますか?	からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許
	プログラム名: 発行元: ファイルの入手先:	C:¥Users¥Uesr1¥AppData¥Loca¥easyHousing 電子署名ライブラリ.msi 不明 : このコンピューター上のハード ドライブ
I	詳細を表示する(<u>D</u>)	(はい(Y))いえ(N)
		<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

🛞 ユーザー アカウント制御		
次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?		
プログラム名: C:¥Users¥user¥AppData¥Local¥¥easyHousing 電子署名ライブラリ.msi		
確認済みの発行元: 不明		
ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ		
続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリック してください。		
User1 レオフード		
✓ 詳細を表示する(D) (はい(Y))いえ(N)		

⑧インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。 通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。

ſ	easyHousing電子署名ライブラリセットアップ	83	
	JavaPolicyファイルを修正します。 このまま自動で修正する場合は「はい」を(推奨設定)、 後で自分で修正する場合は「いいえ」をクリックしてください。		71]+77 !
	(はい(Y) いいえ(<u>N)</u>	

●「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に 「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:¥Users¥(ユーザ名))

>記述内容<

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

⑨<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、 『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。



5.3 Adobe Reader のインストール

Adobe Reader のインストール手順については、以下の URL をご覧下さい。 http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cq10181859.html

上記、URL 内にある「B. Windows 版 Adobe Reader XI のインストール」の手順通りに お進みください。インストーラーは丸で囲ったリンクよりダウンロードをお願いいたします。



以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了となります。

補足1 必要ソフトウェアのアンインストール手順

この章では、各ソフトウェアのアンインストール手順を説明します。 インストールが正常に行われず、再インストールが必要になった場合などに参照して下さい。

補足1.1 Java アンインストール手順

①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。



②「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③Java (複数表示されていた場合は、バージョンの古いもの)をダブルクリックします。



④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

プログラムと機能		
Java 8 Update 51 をアンインストールしますか?		
今後、このダイアログ ボックスを表示しない	(\$U)(Y)	いいえ(N)

以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

🥳 ユーザー アカウント制御		
⑦ 次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可します	すか?	
プログラム名: Java SE Runtime Environment 8 Update 31		
確認済みの発行元: Oracle America, Inc.		
ファイルの入手先: このコンピューター上のハー	ドドライブ	
 詳細を表示する(D) 	いいえ(N)	
これらの通知を表示するタイミン	グを変更する	

(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

😌 ユーザー アオ	カウント制御		×
	プログラム名: Java S Updat 確認済みの発行元: Oracl ファイルの入手先: このコ	SE Runtime Environment 8 e 31 e America, Inc. ンピューター上のハード ド) ライブ
続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリック してください。			
	User1 パスワード		
 詳細を表示 	₹する(D)	(±い(Y)	え(N)

補足1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順

①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。



②「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③「easyHousing 電子署名ライブラリ」をダブルクリックします。

			_		×
	ロール パネル項目 🕨 プログラムと機能	- 4-	プログラムと機能の検索		Q
コントロール パネル ホーム インストールされた更新プロ グラムを表示 ♥ Windows の機能の有効化また			トール		
は無効化	整理 ▼ アンインストール 変更 修復		ł	-	0
	名前		発行元		
	Adohe Reader X (10.1.7) - Japanese		Adobe Systems Incorp	orated	
	🔄 easyHousing電子署名ライブラリ		NEC		
	BJava / Update 25		Oracle		
	🔂 McAfee Agent		McAfee, Inc.		
	😻 McAfee VirusScan Enterprise		McAfee, Inc.		
Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable - x64 9.0.3 Microsoft Corpora		Microsoft Corporation			
Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable - x86 9.0.3 Microsoft Corporation					
	VMware Tools VMware, Inc.				
	•				•
	NEC 製品パージョン: 1.01.0000 ヘルプのリンク: https://www.ea	syhousing.	ne.jp/		

④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?		
プログラム名: C:¥Windows¥Installer¥1c39ed.msi 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ		
♥ 詳細を表示する(D) はい(Y) いいえ(N)		
これらの通知を表示するタイミングを変更する		

(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

🛞 ユーザー アカウント制御		
次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?		
プログラム名: C:¥Windows¥Installer¥27a50.msi 確認済みの発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ		
続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリック してください。		
User1 パスワード		
◇ 詳細を表示する(D) はい(Y) いいえ(N)		

補足2 必要ソフトウェアの更新手順

この章では、各ソフトウェアの更新手順を説明します。 インストール後に更新版が公開され、その使用が推奨されていた場合などに参照して下さい。

補足2.1 Java アップデート手順

※64bit 版の Java は「更新」のタブが表示されないため、 アンインストールとインストールの手順を行う必要があります。

①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「大きいアイコン」にします。



②Java のアイコンをダブルクリックします(次の画面が表示されるまで、数分かかる場合があります)



③Java コントロールパネルの「更新」タブをクリックし、「今すぐ更新」をクリックします。



④以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックして下さい。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

🛞 ユーザー アカウント制御		
プログラム名: Java Auto Updater 確認済みの発行元: Oracle America, Inc. ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ		
続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリック してください。		
User1 パスワード		
 詳細を表示する(D) はい(Y) いいえ(N) 		

補足2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順

①28ページ 「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」の手順で 補足1 「setup. exe」をダウンロードし、ダブルクリックします。



アップグレードの確認画面では、「はい」をクリックします。



②以下の画面では、『次へ』ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



③<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、 『完了』ボタンをクリックし、アップグレード作業は終了です。



環境設定マニュアル Windows7 編

2015 年 9 月 16 日 第 2.6 版 製作/日本電気株式会社

- ※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。